

授業科目名	教育相談	大学名	作新学院大学短期大学部
科目区分	VU連携講座	開講時期	後期（9月26日～1月30日）
学部・学科等	幼児教育科	曜日	未定
必修・選択区分	選択	時限（時間）	未定
標準対象年次	1学年以上	授業形態	講義
単位数	2単位	授業会場	作新学院大学 講義室
担当教員名	矢野 善教		
電話番号 （代表者名）	028-667-7111（大代表）	e-mail アドレス	yoshinori@sakushin-u.ac.jp
オフィスアワー	特に設けず、e-mail や電話で予約を取ってから、質問や相談に応じる。		
授業の概要	<p><授業の目標及びねらい> 教育相談では、支援案を考える際の基礎となる理論を学んだ上で、具体的なアプローチを体験的に学びます。保護者への支援では、基本的なカウンセリング技能を学んだ上で、どのように助言を行い、連携を取っていくことが効果的なのかについて学びます。 保育現場では、様々な教育上の問題に出会います。すでに、実習を通して出会っている学生もいるかもしれません。本授業では、教育相談を通して子どもの支援や保護者の支援を行なうための、知識と技能について説明できるようになることを目標とします。</p> <p><前提とする知識・経験> 特になし</p> <p><授業内容と具体的な進め方> ①プレゼンテーションの方法 授業では、板書とICTを活用します。また、精神疾患や発達障害などについての事例を紹介します。 ②授業形態 主に講義形式で行います。授業の内容によって、グループワークを行います。 ③アクティブラーニングの有無 グループワークや発表等を行います。 ④課題に対するフィードバックの方法 フィードバックは、小テストを採点后、返却し、解答の解説を行います。</p> <p><授業計画> 第1回 オリエンテーション（授業の進め方） 第2回 応用行動分析学の基礎 第3回 応用行動分析学の技法 第4回 応用行動分析学の応用 第5回 認知行動療法の基礎 第6回 認知行動療法の技法 第7回 認知行動療法の応用 第8回 わいわいひろば「学生とあそぼう—感覚統合遊び—」 計画作成 第9回 わいわいひろば「学生とあそぼう—感覚統合遊び—」 教材作成 第10回 わいわいひろば「学生とあそぼう—感覚統合遊び—」 教材作成 第11回 わいわいひろば「学生とあそぼう—感覚統合遊び—」 本番 第12回 わいわいひろば「学生とあそぼう—感覚統合遊び—」の振り返り 第13回 幼稚園における教育相談について 第14回 幼稚園におけるスクールカウンセリングについて 第15回 保護者相談の心得</p> <p><教科書・参考書・教材と入手方法> 教科書は使用しません。毎回、プリントを配布します。</p> <p><成績評価法> 授業での課題への取り組み姿勢や提出物、期末レポートの成績等によって評価します。</p> <p><教員からのメッセージ> 保護者が自分よりも年上である、ということは往々にしてあります。それでも、みなさんは保護者の相談に応じなければなりません。 そんなときに大きな武器となるのが、専門職としての「アセスメントスキル」や「支援スキル」です。 本授業では、それらの知識やスキルを身に付けて、保護者からの教育相談に適切に応じることで、目の前の「その子」を支援することを目指します。</p>		